



元気っ子

No.226 ながさわ保育園

平成 28 年 6 月号

園長 市川 温 予

園庭や園周辺が緑一色になりました。新入園児も在園児もクラスの中で居場所を見つけ、安心して生活できるようになってきました。中には朝お家の人と離れる時に少し涙する子もありますが、その子のペースで馴染んでいってほしいと思っています。

りす組(1歳児)の新入児、在園児の様子を紹介します。一人ひとりが生活の流れを少しずつ理解しはじめ、朝登園したら身辺整理も自分でするようになってきました。自分の鞆からお帳面、おしぼり、おしぼりケース、エプロンを出してそれぞれのかごに入れていきます。かごに貼ってある写真を見て、同じところに入れます。タオルは、タオルかけに自分の顔写真の貼ってあるところにかけます。朝の一連の作業です。「上手にできるね。」と声をかけると「上手。上手。」と子ども達も自分で手をたたきます。なんとも言えず可愛らしい姿です。こうやって成功体験を積んでいきます。身辺整理が終わるとそれぞれが遊びのコーナーにいて好きな遊びをします。ブロックをする子、おままごとをする子、車や電車で遊ぶ子と様々です。先生達も一人ひとりをよく見ながら、丁寧に関わっています。身辺整理も丁寧に声をかけているからこそ、きちんとできるようになったのだと思います。乳幼児期は、肯定的な言葉かけが大切です。子ども達一人ひとりが頑張っていること、できたことをその場その場できちんと見てほめてあげることが必要で、とても大切なことなのです。毎日同じことを同じ手順で丁寧に繰り返すことで身につけていきます。

鈴峰中学校 2 年生の職場体験

鈴峰中学校 2 年生の生徒 6 名が職場体験として、5 月 17 日から 20 日の 4 日間、ながさわ保育園に来てくれました。毎年職場体験に来てもらった生徒さん一人ひとりに得意なことを全園児の前で披露してもらっているのですが、今年は「二重跳び」「ブリッジ」「腕立て伏せをしながら拍手する」「フラフープ 3 個回し」「空手」「バレーボール」と子ども達もお兄ちゃん、お姉ちゃんの真剣で必死な姿に釘付けでした。私も見ていてとても感動しました。目の前で生の姿を見て、子ども達も大きな刺激を受け、挑戦していたようです。こうやって目の前で見て、「すごいなー。」「かっこいいなー。」「私もやってみたい。」と心が動き、すぐに挑戦する素晴らしさ、本当に子どもってすごいなーって思います。普段とは違った人と関わり、いろんな感情体験や感動体験ができ、とてもよかったと思います。お兄ちゃん、お姉ちゃんも全園児の前で披露することはとても勇気がいったと思いますし、緊張したと思います。でも、一生懸命にまた必死になってしてくれたことがきっとこれから生きていく上でプラスになっていくと思います。いい 4 日間をありがとうございました。

6 月 4 日の土曜日は、「おじいちゃん、おばあちゃんとのミニ運動会」です。子ども達もおじいちゃん、おばあちゃんと競技ができることをとっても楽しみにしています。

当日はどうぞよろしく願いいたします。